

第36回大学職員セミナー

大学職員の可能性を広げよう

——大学のグローバル化を牽引する職員を目指して（第2回）——

日時 2017年11月24日（金）～25日（土） 1泊2日
会場 大学セミナーハウス（東京都八王子市下柚木1987-1）
主催 公益財団法人大学セミナーハウス
協賛 公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩

近年、日本の大学にはグローバル化の波が急速に押し寄せています。産業界からのグローバル人材“育成”の要請、文部科学省による大学グローバル化事業の推進があり、大学は自身のディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき、人的・物的リソースを用意のうえ、それぞれがグローバル化政策をたて、様々な教育プログラムを立ち上げ、日本人学生の海外派遣、外国人留学生の迎え入れを進めています。また、多くの大学は国際部や国際連携部、グローバル教育センターといったグローバル化のための組織を整備しているところです。

本セミナーでは大学のグローバル化の意味と、そこで大学の職員役割を考えてみます。海外、特にアジアの高校、大学を回ると多くの日本の大学からアプローチがあることを聞きますし、目にします。アジア諸国の若者には、日本に限らず留学志向が強くあることを目の当たりにすることができ、その学びに対する貪欲さ、真摯な眼差しに心奪われる瞬間もしばしばあります。一方、日本人学生はどうでしょうか？大学のグローバル化の推進の一環で正課授業に短期の留学や海外でのフィールドワーク等が採り入れられ、「見かけ」の海外留学件数は増えているものの、各種メディアで「日本人の内向き志向」が伝えられるのは、我が国の海外への送り出しプログラムや仕組みがまだまだ未成熟で、若者たちが主体的に海外から何かを学び取ろうとする動機付けの機会が整備されていないからかもしれません。また、外国人留学生の迎え入れと日本人学生の海外派遣のバランスをいかにとって、どのようにキャンパスのグローバル化を推進するのも各大学における課題であると言えるのではないのでしょうか。

こうした現実のもと、個々の大学に問われるのは「グローバル化政策」をどのように構築するかです。それには、キャンパスの中で学生に直に接している職員の役割は重要です。海外での学生リクルート活動やプログラム開拓における職員の役割も大きなものがあるはずで

今年度の大学職員セミナーは、こうした問題認識のもとで、実際に大学のグローバル化を牽引している職員の方を講師に迎え、大学のグローバル化と職員役割について考えます。

第1回セミナーは7月に立命館大学から宮下明大氏を迎えて、大学グローバル化の先進事例と職員役割について講演をいただき、ワールドカフェ形式のワークショップを行います。

第2回セミナーは1泊2日の合宿形式で行います。早稲田大学留学センターの眞谷国光氏に基調講演をお願いし、具体的な大学グローバル化戦略を考えるワークショップを行います。早稲田大学は外国人留学生の迎え入れ数は日本一、また日本人学生の海外派遣数でもトップクラスを誇る大学です。海外大学と共同の教育プログラムも数多く持っています。留学プログラムをどのように企画・立案し、運営していくかは多くの大学で課題となっています。プログラムの開発や運営面の工夫と課題について聞くことは多くの大学職員にとって有益なものになるはずで

す。ワークショップでは仮想大学を設定し、参加者の皆さんに具体的なグローバル化戦略を考えていただきます。毎年このワークショップでは参加者の皆さんの白熱した議論で時間が足りず、予定時間を越えた議論を経て、質の高いプレゼンテーションをしていただいています。

本セミナーは「聞く」だけでなく、「聞く」「考える」「ディスカッションする」「プレゼンテーションする」を盛り込んだ、中身の濃い研修を行っています。全国の国公立大学の職員が集まる数少ない研修の場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

■基調講演

海外留学プログラムの開発と運営について—早稲田大学の事例より—

まみや くにみつ
眞谷 国光氏（早稲田大学国際部国際教育企画課兼留学センター・国際プログラムコーディネーター）

現在、日本中のほとんどの大学が促進していると言っても過言ではない「海外留学」ですが、大学におけるその開発と運営は、どのようにあるべきでしょうか。早稲田大学の事例を共有し、将来展望や課題も含めてお話をいたします。留学プログラムの実際の開発経験や運営面での工夫と課題、リスク管理などについて、具体的にご説明を行います。

セミナーの目的

- グループディスカッションでの議論・発表を中心に、事例報告・講演や情報交換を通して、以下を実現することを目的とします。
- *大学の抱えている課題の検討を通して職員の役割を考える。
 - *課題解決能力とプレゼンテーション力を涵養する。
 - *ヒューマンネットワークを構築する。
 - *他大学の取り組みや大学を取り巻く環境の最新情報を得る。

参加にあたって

- *参加者全員に事前レポート（A4・1枚程度）を提出していただきます。詳細はお申込み者に別途ご連絡します。
- *「グループディスカッション」では、各参加者の事前レポートの発表ののち、同一テーマの下に企画・立案を含むディスカッションをしていただきます。
- *「総括討論・発表」は、グループディスカッションの報告を踏まえた討論・発表を行います。

募集要項

- 定員 : 40名(先着順)
- 参加対象 : これからの大学を担う若手・中堅、また熱意ある職員(教員を含む)
- 参加費 : 30,000円(大学セミナーハウス協力会員 20,000円、ネットワーク多摩会員 25,000円)
*参加費には宿泊・食事・資料代、消費税を含みます。
- 申込方法 : ホームページの申込みフォームよりお申込みください。
- 申込締切 : 2017年11月9日(木)
- お問合せ先 : 公益財団法人大学セミナーハウス/セミナー・グループ
TEL. 042-676-8532/FAX. 042-682-2601
E-mail seminar-g@seminarhouse.or.jp
URL <https://iush.jp>

企画委員

- 近藤 清之 (委員長) 法政大学常務理事
青木加奈子 高崎経済大学研究グループ研究支援チーム
岩崎 宏政 明治大学社会連携事務室事務長
大久保陽造 中央大学入学センター入学企画課課長
山本 眞一 桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授

アクセス

- 東京駅より約1時間30分
羽田空港より約2時間
 - 最寄駅
JR 八王子駅
京王線北野駅
京王相模原線南大沢駅
- 各駅よりバスで約15分(野猿峠バス停下車徒歩5分)、タクシーで約10分

タイムスケジュール

■第1日 11月24日(金)

- 11:20 受付
- 11:30 昼食
- 12:30 開会式
- 13:00 【事前レポート発表・意見交換】
- 13:40 【基調講演】 眞谷国光氏
- 15:40 【グループディスカッション1】
- 18:50 【中間報告】
- 19:10 夕食・情報交換会

■第2日 11月25日(土)

- 9:00 【グループディスカッション2】
- 13:10 【総括討論】
グループディスカッションの
成果報告と討論
- 14:40 閉会式

